

**令和5年度**  
**「緑のカーテン作り方講座」アンケート結果報告書**

鹿児島県霧島市  
市民環境部環境衛生課

令和5年10月



## <目 次>

- 1 「緑のカーテン作り方講座」の目的について・・・P1
- 2 「緑のカーテン作り方講座」について・・・・・・・・P1
- 3 アンケート結果・・・・・・・・・・P4
- 4 ワンポイントアドバイス・・・・・・・・P8
- 5 取組事例写真・・・・・・・・・・P10

## 1 「緑のカーテン作り方講座」の目的について

地球温暖化対策を推進するためには、市民の理解と行動が不可欠であることから、市民が家庭等で取り組みやすい対策のひとつとして緑のカーテンの普及を図るために、平成21年度から実施しています。また、これまでのアンケート結果から地球温暖化防止以外にも環境学習、周囲の人とのコミュニケーション、心理的な癒し効果など様々な利点があることがわかりました。

本アンケート結果は、今年度、本講座に参加された市民の皆さんのアンケート結果を取りまとめたものです。

～緑のカーテンとは～

つる性の植物を窓際にはわせて遮光し、室温の上昇を抑制することにより、冷房で消費される電力量及びこれに伴うCO<sub>2</sub>を削減し、地球温暖化を防止するとともに、ヒートアイランドを抑制することを緑のカーテンと呼んでいます。

## 2 「緑のカーテン作り方講座」について

### (1)参加グループ数

81グループ（59団体）

### (2)募集期間

令和5年3月23日（木）から4月14日（金）

### (3)開催日時・場所

令和5年5月27日（土） 午前10時から正午

国分シビックセンター多目的ホール

### (4)講座内容（敬称略）

苗の育て方講座・・・講師：国分中央高等学校園芸工学科生徒 8名

質疑応答・・・講師：佐藤 勝幸先生(国分中央高等学校園芸工学科)

苗配布・・・1グループにつきゴーヤ苗5、ヘチマ苗2、パッションフルーツ苗1苗は、国分中央高等学校の生徒が育苗したものを配布しました。

### (5)アンケート結果

回収率・・・78%（59団体中46団体）

※P4～P7に結果内容を掲載しています。

講座の様子

会場



国分中央高等学校園芸工学科の生徒による育て方講座



## 国分中央高等学校園芸工学科佐藤先生による補足説明、質疑応答



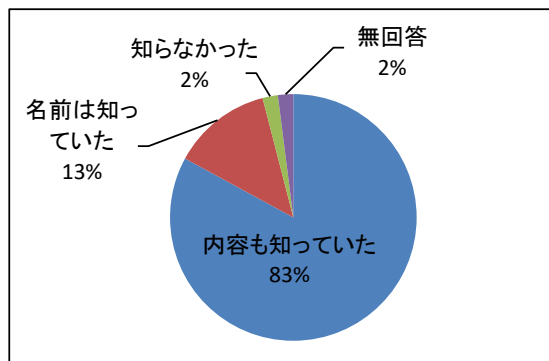
## 苗配付



## 令和5年度「緑のカーテン作り方講座」アンケート結果

質問1 緑のカーテンという言葉を知っていましたか。

内容も知っていた	38 人	83%
名前は知っていた	6 人	13%
知らなかった	1 人	2%
無回答	1 人	2%
計	46 人	—

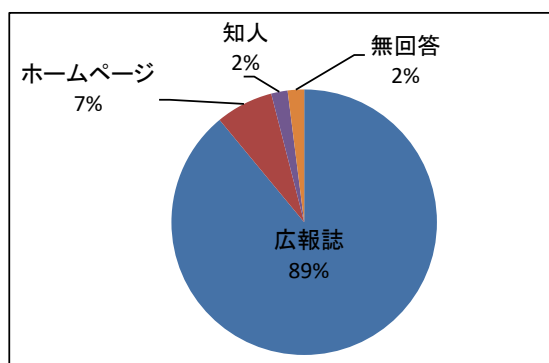


### 『考察』

8割の方が内容を知っているということから、緑のカーテンが広く認識されていることがうかがえる。

質問2 今回の事業を何で知りましたか。

広報誌	41 人	89%
ホームページ	3 人	7%
FMラジオ	0 人	0%
知人	1 人	2%
その他	0 人	0%
無回答	1 人	2%
計	46 人	—

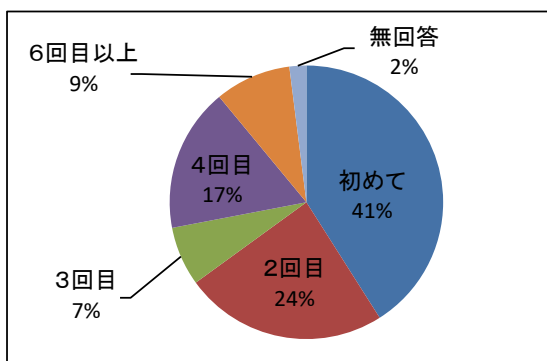


### 『考察』

広報誌を見て応募される参加者が大半を占めている。広報誌により参加の定着率が上がっている。

質問3 事業への参加は何回目ですか。

初めて	19 人	41%
2回目	11 人	24%
3回目	3 人	7%
4回目	8 人	17%
5回目	0 人	0%
6回目以上	4 人	9%
無回答	1 人	2%
計	46 人	—

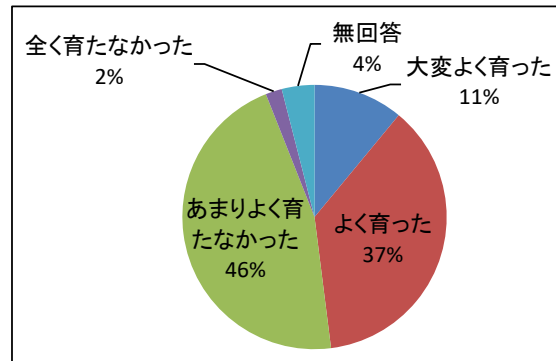


### 『考察』

今年度は半数近くが初参加の方で、多くの市民の方が新たに緑のカーテンの育成に取り組んだ。

質問4 育成状況を教えてください。

大変よく育った	5 人	11%
よく育った	17 人	37%
あまりよく育たなかった	21 人	46%
全く育たなかった	1 人	2%
無回答	2 人	4%
計	46 人	—



【自由意見】

＜成功意見＞

- ・暑い中での水やりが大変だったが、おいしいゴーヤができた。
- ・朝夕たっぷりの水と追肥で、屋根上までツルと葉が伸び、ゴーヤとヘチマをたくさん収穫できた。
- ・初めてヘチマを植えたが、葉が大きく、影ができて涼しかった。

＜失敗意見＞

- ・7月中旬までは良かったが、急に枯れてしまった。
- ・台風の影響で全部ダメになってしまった。
- ・ツルが広がらず、実も少なかった。

『考察』

うまく育てることができたという意見の一方で、台風等の影響による失敗意見が寄せられた。

質問5 緑のカーテンを実施した箇所と実施しなかった箇所の温度を測定してください。

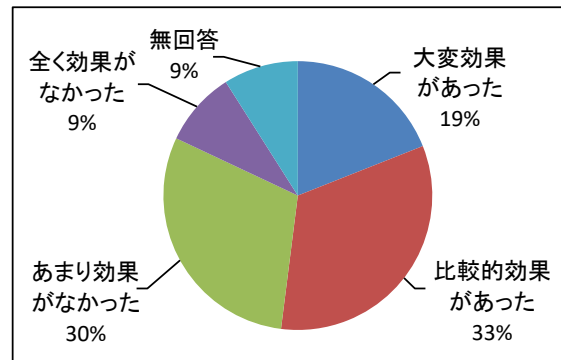
\* 晴れた日の午後2時頃1回計測してください。

屋外	カーテン実施した箇所平均	31.3 度	屋内	カーテン実施した部屋平均	29.6 度
	実施しなかった箇所平均	33.2 度		実施しなかった部屋平均	30.5 度
	↓			↓	
	平均温度差	▲ 1.9 度		平均温度差	▲ 0.9 度
	最大温度差	6.0 度		最大温度差	2.0 度



質問6 緑のカーテンの効果がありましたか。

大変効果があった	9 人	19%
比較的效果があった	15 人	33%
あまり効果がなかった	14 人	30%
全く効果がなかった	4 人	9%
無回答	4 人	9%
計	46 人	—



【自由意見】

＜効果あり＞

- ・温度計で測ってみたら明らかな差があった。
- ・日差しをかなりカットでき、涼しく感じられた。
- ・緑のカーテンをしてからはブラインドを下ろさなくてもよくなった。
- ・緑のカーテンで雰囲気が良くなった。
- ・光が直接入ってこなくなったので良かった。

＜効果なし＞

- ・暑くなる前に台風でダメになってしまった。
- ・ツルが広がらず、影ができなかった。
- ・葉が均等につかなかったため、日よけ効果は薄かった。
- ・生育が悪くカーテンにならなかった。

『考察』

温度の低下だけではなく、視覚的にも涼しく感じるという意見が多かった。  
緑のカーテンの効果を感じる前に、大雨や台風の影響でダメになってしまったという意見も多かった。

質問7 栽培するのに苦労した点、分からなかった点、工夫した点はありましたか。

【自由意見】

- ・雄花と雌花の区別がつきにくく、受粉は虫にまかせた。
- ・ツルや葉が伸びすぎて支柱を越え、屋根上まで伸びて管理が難しかった。
- ・摘芯ができなかった。
- ・肥料も与えていたがうまく育たなかった。
- ・葉に虫がたくさんついてダメになってしまったので、虫の種類や防ぎ方を教えてほしい。
- ・今年は虫がとても多く、葉を食べられたりとても苦労した。
- ・急に枯れ始めた原因が分からなかった。
- ・台風の時によいように対処したらよいか分からなかった。
- ・肥料の種類や与え方が分からなかった。
- ・台風に合わせて一度カーテンを下ろし、台風通過後にまた張り直したら問題なく成長した。

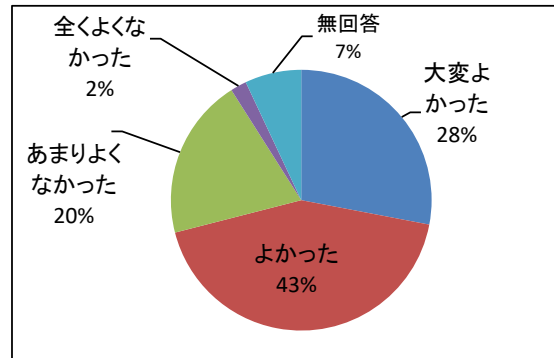
『考察』

肥料の選び方や与え方が分からないという意見が多く見られた。苦労した点としては、害虫や台風対策についての意見が多く見られた。



質問8 取組全体の感想を教えてください。

大変よかった	13 人	28%
よかった	20 人	43%
あまりよくなかった	9 人	20%
全くよくなかった	1 人	2%
無回答	3 人	7%
計	46 人	—

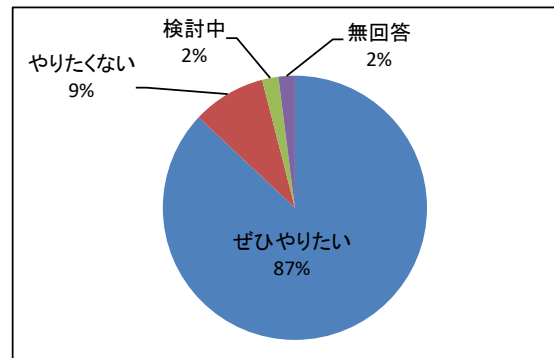


【自由意見】

- ・収穫したゴーヤでいろいろな料理ができてありがたかった。
- ・初めて緑のカーテンをしたが、室内からも涼やかな印象で、外から直に見えないのでとてもいいと思った。
- ・野菜を育てたのは初めてだったが、楽しみながら育てることができた。日々、実が大きくなる楽しみがあった。
- ・来客からの評判が良かったので来年もやりたい。
- ・趣味で始めたが、課題が多かった。
- ・緑のカーテンを通じて交流ができたので良かった。
- ・自生している朝顔も誘引できたので華やかなカーテンになった。
- ・今年うまくいかなかったので再挑戦したい。
- ・葉が青々としていて今までで一番成長がよかったが、実があまりならなかった。
- ・実があまりならなかったのは残念だった。
- ・今年は特に気温が高い日が続いたので、緑のカーテンがあってよかった。

質問9 来年度もやりたいと思いませんか。

ぜひやりたい	40 人	87%
やりたくない	4 人	9%
検討中	1 人	2%
無回答	1 人	2%
計	46 人	—



『考察』

来年度も実施したいという意見が9割近いことから、事業の有益性がうかがえる。

## 4 ワンポイントアドバイス！

(国分中央高等学校園芸工学科)

### ◎水やりの方法

水やりの時間は、気温の高くなる日中を避けて、朝夕の涼しいうちにしたほうがよいです。水やりの量は、プランターで栽培している場合、土の表面が白っぽく乾いたら下の排水口から水が出てくるくらいたっぷりあげましょう。梅雨の時期は雨で土に含まれている水の量が多すぎて根腐れが発生しやすくなります。この時期はプランターの底の一方側にレンガなどを敷いて傾けておき、強制的に排水してあげると良いでしょう。

なお、プランターの土は表面が硬くなりやすい条件にあります。土の表面にワラなどを薄く敷いてあげると、土が硬くなるのが防げるのではないのでしょうか。たまに、プランターの横から軽くたたいて、土をほぐしてあげると、水はけは一段と良くなると思います。

最後に、緑のカーテンを設置する場所は、とても日当たりの良いところです。カーテンが出来上がるまでの期間、日中は土、プランターどちらも、直射日光が当たるため、かなりの高い温度を保ったままの状態になってしまいます。そこで、プランターに一工夫してみてもどうでしょうか。例えば、プランターの外側にアルミホイルのような銀紙を張ってあげるので。すると、温度の上昇も防げるほか、アブラムシ等の害虫が寄ってこないといった効果も得られます。

### ◎肥料のやり方について

肥料を与える前に、注意することがあります。それはプランター栽培の場合も、地植え栽培の場合も出来るだけ、毎年土を入れ替えてあげることです。何年もプランター栽培で利用した土を続けて使ってしまうと、生育は極端に悪くなります。地植えの場合も冬場に掘り起こして寒さに当てておくことや堆肥を混ぜて土作りをしておくことが大切です。

さて、肥料についてですが、肥料には様々な種類があります。出来ればゆっくりと肥料分が溶け出していくような「緩行性の肥料」が良いと思います。肥料の量は肥料の粒の大きさにもよりますが、追肥の場合（2週間おきが目安）1回につきスプーン2杯程度が限度でしょう。やりすぎに注意してください。また、肥料は土に混ぜるようにしてください。時期によって「元気がなくなったな」「早く肥料を効かせたいな」と感じたら、1000倍くらいの液体肥料を水やり代わりに与えても良いのではないのでしょうか。

### ◎ツルの摘み方

先に伸びようとするツルの先端が多すぎると、植物は疲れてしまいます。目標の高さや広さに達したら、ツルの数を制限するために先端部分を随時摘んであげましょう。すると、元気のいいツルが葉の付け根より出てきます。葉の密度が高い緑のカーテンができあがることでしょう。なお、ツルを摘む場合は、摘んだ後の切り口が乾くように天気の良い日を選んでください。

## ◎親ツルと子ツルの見分け方

基本的に親ツルの葉の付け根から出てきているツルが子ツルです。その子ツルの付け根から出てきているツルが孫ツルです。ヘチマやゴーヤは子ツルや孫ツルの葉の付け根に雌花が付きやすい性質を持っています。実の収穫する量と葉を茂らせる面積とがバランスよくなるように、生育状態を観察しながら、先ほど述べたツルの先端を摘むこと(摘心)を行ってください。なお、あまり細かく子ツルや孫ツルを見分けて管理していく必要はないと思います。

## ◎長持ちできる緑のカーテンに最適な植物

全国各地で緑のカーテンに利用されている植物は多岐にわたっているようです。「今後、利用されてみては」と考える植物を下に上げてみます。参考になさってください。

(果実を収穫出来る楽しみのある植物として)

- ・ヘチマ
- ・ゴーヤ
- ・大長ササゲ
- ・シカクマメ
- ・ヒョウタン

(花を楽しむ植物として)

- ・ヨルガオ(夕顔)
- ・オーシャンブルー(宿根性アサガオ)
- ・ブーゲンビリア





5 取組事例写真





